

タイトル： わたしって何色？～LGBT(性的マイノリティー)からみる人権問題～

ファシリテーター（グループ名）： 不平等2

メンバー：柄澤亜美 坂井未来 辻川敬大 畔上翔太 本多由佳子 金塚陽南子 玉城瑠衣 矢川達也

### 1：本ワークショップの要旨

好きってどういうことだろう？好きにはいろいろな形があり、男女間だけでなく男が男に、女が女に恋愛感情をもつ場合もある。だれがだれを好きか、第三者が制限することはできるだろうか。日本では20人に1人の割合がLGBT(性的マイノリティー)だと言われている。

このワークショップでは、LGBTから人権という大きな枠組みの問題に触れ、また互いの個性を認め合い、個人の能力を発揮できる社会をどう作るか考えるきっかけにしたい。

### 2：本ワークショップの目的(ともに考えたいこと、実現したいこと)

日本では20人に1人がLGBTだと言われており、身近なことであるという認識を持ってもらいたい。また、LGBTは誰もが持っている個性の一つであり、なにも特別なことではないということを考えたい。

### 3：本トピックをとりあげる理由

差別というものは多岐にわたる。中でもLGBTに関する差別問題は日本では認知度が低い。それでも近年はパートナーシップ条例が施行されるなど、今とても注目されている問題であるから。

#### 4：担当の教員への要望、確認したいことなど

##### <事前>

###### 【確認したいこと】

- ・参加者人数
- ・プロジェクター、スクリーンの使用の可否

###### 【要望】

- ・ **会場の下見**と面談

##### <当日>

##### <事後>

## 5 : 活動過程

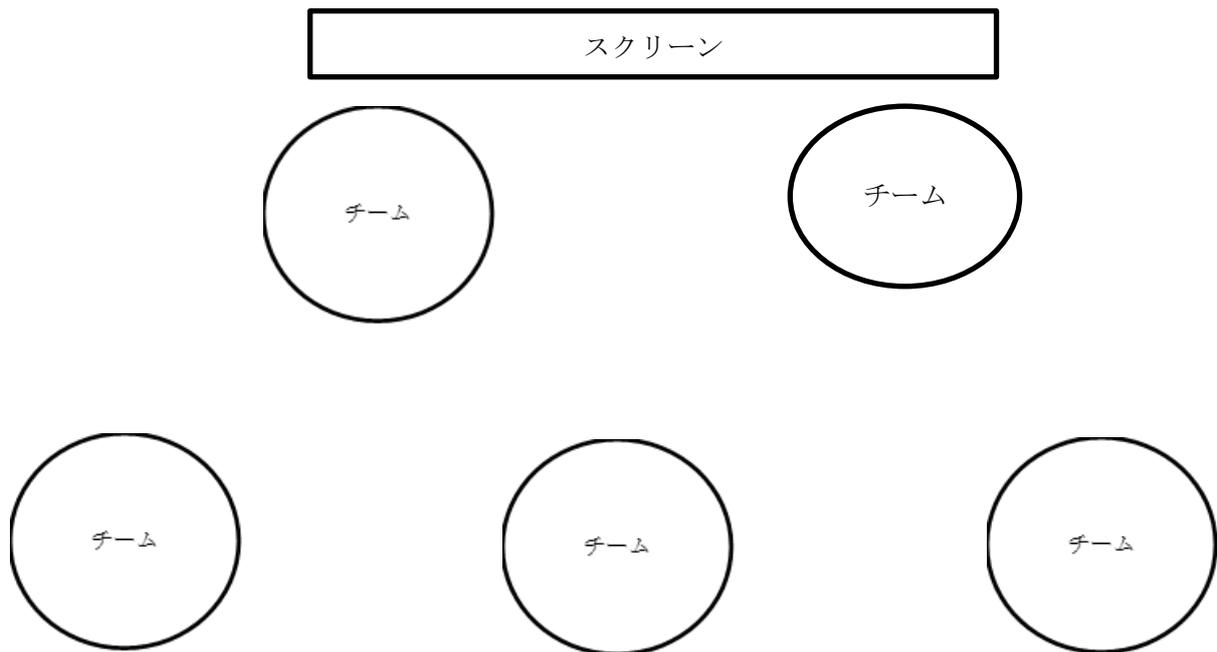
(使用時間 : 90分 参加人数 : 未定)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	注意事項
はじめに ( 3分)	本日のねらいの確認 (1)	・「本日は人権について LGBT というテーマから考えていきたい」	本ワークショップの意味を共有する	名札シール	
	ワークショップの流れの確認 (2)	(1) アイスブレイク (2) LGBT の説明 (3) トイレを題材にして、LGBT が身近な事であると知ってもらう (4) 具体的に日本と外国の差別の事例について知る (5) 自分の良いところ探しワーク (6) 色塗りワーク	一連の流れを共有する	パワーポイント	
導入 : 起 (13分)	・アイスブレイク (手ほどきゲーム) (10)	チームで輪になり隣の人以外と手を組んで、知恵の輪のようにほどこいていく	体を動かさず活動で、参加者に緊張をほぐしてもらう		
	・LGBT の説明 (3)	パワーポイントを併用してヘテロセクシャルと LGBT がどのようなものであるかを知ってもらう 実際のレズビアンカップルの写真を見せる	LGBT の基本知識を知ってもらい後のワークにつなげる	パワーポイント	

<p>展開 : 承 (23 分)</p>	<p>・トイレの分け方を考えるワーク 説明 (3) トイレ分け方 (5) 分けた理由 (5) マーク (5) 発表 (5)</p>	<p>グループごとに、どの ような分け方をしたら 誰でも気持ちよくトイ レを使用できるのか考 える 分けたトイレの種類ご とにどのようなマーク が良いか考えて、実際 に書く</p> <p>大洋紙に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの分け方</li> <li>・分けた理由</li> <li>・マーク</li> </ul> <p>グループごとに発表し てもらう</p>	<p>トイレという身近な例から考えることで、参加者全員にかかわりのあることである、というのを理解する</p>	<p>パワーポイント ペン(人数分) 紙 清書用紙</p>	
<p>休憩(10分)</p>					
<p>発展 : 転 (24 分)</p>	<p>・実際にある、トイレの分け方の事例をあげる (3)</p> <p>・日本と外国の差別の具体例の紹介 (5)</p> <p>・LGBT の方々の経験した事例紹介 (4)</p>	<p>実際に世界であるトイレの事例を紹介する</p> <p>トイレから離れ、日本と外国で実際に起きている LGBT にかかわる差別の事例を見ていく</p> <p>実際に LGBT の方々が経験した事例についてパワーポイントを使っていくつか紹介する</p>	<p>こんな分けかたもあったんだ、という発見をする</p> <p>トイレ以外に関して外国と日本の差別の事例を参加者に知ってもらう</p> <p>LGBT の方々の経験した事例を通して、決して他人事ではなく身近なことであること</p>	<p>パワーポイント  パワーポイント  パワーポイント</p>	

	<p>・解決策を考える ワーク 考える時間（10） 発表（2）</p>	<p>ポストイットに、どうしたら LGBT をとりまく現実が明るいものになるのか、ポストイットに意見を書き出して、大洋紙に貼る ワークの最後に各グループの代表の人に、自分たちの<b>グループの意見</b>を発表してもらおう</p>	<p>を知ってもらい、後のワークに<b>繋げる</b></p> <p><b>先のワークの事例を踏まえ</b>、身近な人権問題として参加者自身がどうしたら解決できるかを<b>考える</b></p>	<p>ペン ポストイット 大洋紙</p>	
<p>まとめ : 結 ( 14 分)</p>	<p>・プライドパレードの紹介（2）</p> <p>・ペイントワーク 説明（1） 考える時間（5） 発表（4）</p> <p>まとめ（2）</p>	<p>LGBT の人たちが行っているプライドパレードの動画を見せる</p> <p>一人ひとり自由に紙に色を塗ってもらおう ホワイトボードに貼り付けてもらおう</p>	<p>先のワークの一例として紹介する 実際に行動を起こしている事例を<b>紹介すること</b>で、参加者に自分にも行動を起こせることを知ってもらおう</p> <p>誰もがなにかしらの個性を持ち、それらに優劣はつけられず、互いに認め合うべきであることを感じてもらう</p>	<p>ペン（いろいろな色） 白紙（人数分）</p>	

## 6 : 会場のセッティング



## 7 : 使用する教材

- ・ペン
- ・大洋紙
- ・ポストイット
- ・A4 の紙
- ・のり
- ・プロジェクター
- ・スクリーン

## 8 : 参考にした資料

### 映像資料

- Kimberly Peirce (1999) 『Boys Don' t Cry』 (Fox Searchlight Pictures).  
新設Cチーム企画作成 (2011) 『いろんな性別～LGBTに聞いてみよう!～』.

### 文献

- 吉永みち子 (2000) 『性同一性障害』 集英社.  
辻村みよ子, 大沢真理編 (2010) 『ジェンダー平等と多文化共生～複合差別を越えて～』 東北大学出版会.  
田中玲 (2006) 『トランスジェンダー フェミニズム』 インパクト出版会.  
セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク編著 ; ロニー・アレキサンダー [ほか] 著 (2006)  
『セクシュアルマイノリティ : 同性愛、性同一性障害、インターセックスの当事者が語る人間の多様な性』 明石書店.  
毎日新聞「境界を生きる」取材班 (2013) 『境界を生きる : 性と生のはざままで』 毎日新聞社.  
加藤秀一 (2006) 『知らないと恥ずかしいジェンダー入門』 朝日新聞社.

## 9 : 備考等